

## 施策評価調書(23年度実績)

施策コード	Ⅲ-2-(3)
長期総合計画頁	129

政策体系	施策名	県民スポーツの振興	所管部局名	教育庁
	政策名	芸術・文化の興隆とスポーツの振興	関係部局名	教育庁、企画振興部、福祉保健部

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	県民スポーツの推進基盤の整備	競技スポーツの振興	スポーツ文化の定着

### 【Ⅱ. 目標指標】

指標	関連する取組No.	基準値		23年度			24年度	27年度	目標達成度(%)										
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125						
i	総合型地域スポーツクラブの創設数(クラブ)	①	H16	14	39	39	100.0%	45	75										
ii	県民すこやかスポーツ祭の参加者数(人/年)	①	H17	7,221	11,337	8,900	78.5%	12,023	14,081										
iii	プロスポーツチームの県内開催試合の平均観客動員数(人/年)	③	H22	14,599	18,500	12,469	67.4%	18,500	18,500										
iv	プロスポーツチームの県内小学校などの訪問箇所数(箇所/年)	③	H22	187	201	201	100.0%	215	260										

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等	平均評価
i 達成	平成22年度は目標値を60(旧市町村数(58)+大分市(+2))としていたが、市町村合併によって18市町村となったことに伴い、平成23年度に目標値の見直しを行ったことにより、目標値を達成した。なお、国がスポーツ振興基本計画(H12施行)で目標としていた各市町村に1つの総合型地域スポーツクラブの創設については、本県は平成21年度に目標を達成している。	概ね達成
ii 著しく不十分	広報チラシの作成等により大会の周知を実施したが、平成23年度は5月29日台風(2号)の影響により全93会場中、17会場で開催が中止となったため、目標値を達成できなかった。今後は予備日を設定するなど参加者の確保を図りたい。	
iii 著しく不十分	この指標はトリニータの観客動員数によるところが大きく、東日本大震災の影響で試合が平日に開催されたこと等により観客数が伸びなかった。引き続き各チームは観客増に取り組むことが重要であるが、県としても県内各地のイベントや学校等に選手を派遣し、チームや選手を身近に感じてもらい、応援する機運を高めていきたい。	
iv 達成	プロスポーツチーム独自の活動も増えてきており、地域密着型プロスポーツが定着してきた結果、目標値を達成した。	

#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	評価
①	・クラブ創設の核となる人材を育成するためのクラブマネージャー養成講習会を開催した結果、上級講習会の受講者が増加(68→73)した。
②	・大会の広報や準備、運営を積極的に支える「高校生活動」組織の整備を図った結果、県下全ての高等学校(79校)に「生徒実行委員会」が設立できた。
③	・プロスポーツチームを、地域イベントや学校訪問等に積極的に参加させることにより、県民にスポーツと触れ合う機会を提供した。

#### 【Ⅴ. 施策を構成する主要事業の評価】

取組No.	事業名	事務事業評価		事業コスト (千円)
		総合評価	掲載頁	
①	1 地域生涯スポーツ振興事業	見直し(24年度)事業内容の拡充	—	7,997
	2 県民スポーツフェスティバル開催事業	現状維持	—	19,249
②	1 チーム大分強化事業	見直し(24年度)効率化の推進	—	190,099
	2 スポーツ大分パワーアップ事業	見直し(24年度)効率化の推進	—	122,000
	3 未来のアスリート発掘・育成事業	現状維持	—	17,157
	4 全国高等学校総合体育大会開催準備事業	見直し(24年度)事業内容の拡充	234	174,302
③	1 地域密着型プロスポーツ普及促進事業	見直し(24年度)事業内容の拡充	23	30,326

#### 【Ⅵ. 主な取り組みの進捗状況・今後の課題】

進捗状況	取組No.「①県民スポーツの推進基盤の整備」及び「③スポーツ文化の定着」について、やや遅れている。	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブの意義や活動の認知を図るための広報活動及びクラブの運営に必要な人材・財源・施設の確保</li> <li>・県民すこやかスポーツ祭の種目別大会実施団体の拡大及び積極的な広報活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部九州インターハイに向けた県民の開催機運の醸成と、高校生を中心としたおもてなし活動の充実</li> <li>・見るスポーツ文化の定着</li> </ul>

#### 【Ⅶ. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会(H23.6) ・芸術やスポーツは専門家が直接指導することが子どもにとって効果的である。	
---	--

#### 【Ⅷ. 今後の施策展開について】

今後の方向性	施策展開の具体的内容
拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及啓発パンフレットの配布箇所を拡大し、総合型地域スポーツクラブの周知を図る。また、スタッフ研修会の拡充により、育成に必要な人材を確保する。</li> <li>・広報ポスター、チラシの配布を行うとともにホームページを活用し、開催の周知をおこない、参加者数の増加を図る。</li> <li>・高校生を中心とした、カウントダウンイベント開催による開催機運の醸成と、「手作り記念品」の作製、環境美化活動など、おもてなしの準備を行う。</li> <li>・今後もプロスポーツチームと協働して、地域や学校等を訪問することにより、さらなる地域密着型プロスポーツの定着を図る。</li> </ul>